

ローカル5G等を活用した複数の地域かつ複数の救急病院間を跨ぐ救急医療の地域医療連携モデルの実現に関する実証

複数の救急車・病院間で患者の4K映像とバイタル情報を共有し、救急搬送を最適化するシステム

地域課題	3次救急病院への軽症者の搬送割合が高い: 3次救急病院への搬送患者の36%が軽症者であり病床逼迫に繋がる - 圏域による医師の偏在: 県東部医療圏域に人口と医師が集中し、圏域による医師の地域格差が生じている	目指す姿	地域医療連携ネットワークの構築: 5G等を活用し、県内の医療機関において包括的な連携体制を目指す
実施体制 (下線: 代表機関)	株式会社エヌ・ティ・ティ・データ経営研究所、エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ株式会社、株式会社ソリトンシステムズ、徳島県、ケーブルテレビ徳島株式会社、消防本部、2次救急病院、3次救急病院	実施地域	徳島県徳島市、阿南市、鳴門市、小松島市、海部郡

実証の概要

複数の救急車と複数の病院間を接続し、患者情報の共有、搬送先決定、特定医療行為の補助を行う

複数の2次救急病院と3次救急病院を接続し、患者情報の共有、コンサルテーション、転院搬送の補助を行う

実証に向けて達成すべき項目

- 県下での局所実装による実患者への適用 (1エリア)
 - 病院 1 施設と当該医療圏の消防本部へ実装
- 医療従事者の運用ニーズへの対応 (2件)
 - モバイル端末対応
 - 最小機器構成での有効性検証

実証成果・実装移行の課題

実証成果

- 【1】搬送患者の医学的観点における診断精度の向上について、ポジティブな回答が70%を超え、実装要件を満たした
- 【2】運用ニーズである3拠点間（救急車、2次救急病院、3次救急病院）での情報連携を達成した
- 【3】救命士の心理的負担軽減について、ポジティブな回答が68%と要件を下回る結果となった

実装移行への課題

- 県内の救急医療搬送件数上位10施設への周知及び合意形成
- 医療機関の人的・組織的体制の整備
- 救急車、病棟の限られたスペースに設置できる機器類の選定 (モバイル端末対応、ウェアラブルカメラ単体での有効性検証)

実装・展開のスケジュール

実装 (2024/7-2025/3)	横展開 (2025/4-2026/3)
県内地域中核病院への4K映像・バイタル伝送システムの導入 - 実装体制のフィジビリティ確認 (徳島MC協議会、医療コンソーシアム協議会での合意形成) - 中核病院において本ソリューションの実装開始	5G等を活用した地域医療連携を推進 - 患者の医療情報をリアルタイム共有し、地域の医療格差を埋める - 応用展開 (出張型の健康診断での活用など)の検討